

新型 コロナウイルス感染症 に注意!!

災害時には、危険な場所にいる人は避難することが原則です。

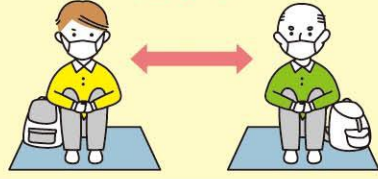
密集を避けるため
自宅や親戚・知人宅への
避難を検討



非常用持出品だけでなく
体温計、マスク等を
持参して避難



避難所では3密
(密閉、密集、密接)を
避ける



こまめな手洗いや
咳エチケットの励行



体調が悪い場合は
すぐに相談を



かがやくけん、かがわけん。
香川県



新型 コロナウイルス感染症 に注意!!

ハザードマップを活用した避難行動

命を守るためにとるべき避難行動は、災害の種類や状況によって異なります。「自らの命は自らが守る」という意識を持ち、防災情報に十分注意し、災害が発生する前に、自分の判断で自発的に避難行動をとることが重要です。

「自分の命を守るための避難行動」の流れ

① 正しく知る

地域の災害リスクや避難場所、避難情報や気象情報の種類・意味を知る。

② 正しく判断する

防災情報を入手し、その情報をもとにとるべき避難行動を考える。

③ 正しく行動する

災害が起こった時の家族のルール（避難場所や連絡手段など）を決めておく。

適切な避難行動をとるために、まずはハザードマップで地域の災害リスクを知り、災害に備えておきましょう!

香川県では、県民の皆さまの避難行動を支援するツールを提供しています。

防災アプリ「香川県防災ナビ」

主な機能

- 危険なエリアにいる利用者へプッシュ通知
- ハザードマップ・避難所情報の地図表示
- 所在地付近の避難所等へのルート検索
- 事前に登録した家族等の安否確認が可能

登録方法

右のQRコードを読み込み、アプリをインストールしてください。

利用マニュアル

香川県ホームページからダウンロードできます。
香川県ホームページで「防災ナビ」を検索!



Google play
で手にいれよう



App Store
からダウンロード

携帯電話をご使用の方はこちら!

防災情報メール

携帯メール等で、気象情報や避難情報等を受け取ることができます。

登録方法

右のQRコードを読み込むか、このメールアドレス (ml@bousai-kagawa.jp) に空メールを送信して登録してください。



ハザードマップで起こりうる災害の想定される区域がわかります



土砂災害
山地災害

・土石流や地すべり、がけ崩れが発生するおそれのある区域

土砂災害警戒区域等

・山腹崩壊や土石流などによる災害が発生するおそれのある地区

山地災害危険地区



浸水

河川が氾濫した場合や高潮が発生した場合に浸水が想定される区域や、浸水の深さ

洪水浸水想定区域

高潮浸水想定区域



地震

・南海トラフ地震や直下型地震が発生した場合に想定される震度

震度分布図

・液状化のおそれがある区域

液状化危険度予測図



津波

南海トラフ地震で津波が発生した場合に浸水するおそれがある区域や、浸水の深さ

津波浸水想定図



ため池の
決壊

地震などでため池が決壊した場合に浸水するおそれがある区域や、その浸水の深さなど

ため池ハザードマップ



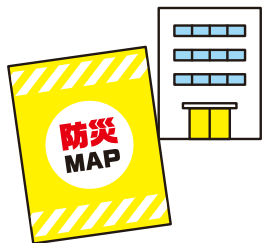
道路の
冠水

道路や鉄道の下をくぐり抜けるように通っている、周辺より道路が低くなっている箇所

道路アンダーパス部

ハザードマップ(防災マップ)はどこで手に入る？

① 市役所・町役場



② 自治体のホームページ



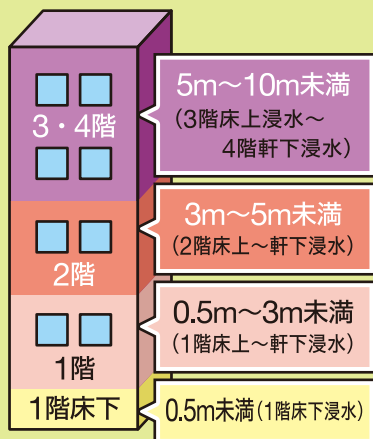
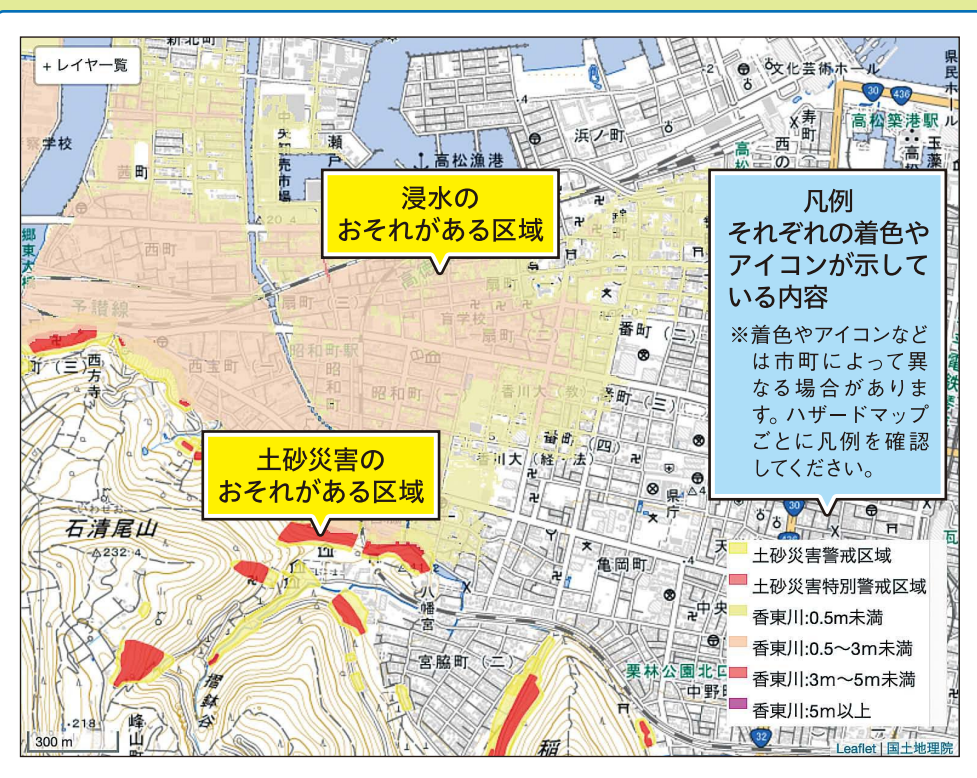
③ かがわ防災Webポータル



④ 防災アプリ「香川県防災ナビ」



ハザードマップを見てみましょう



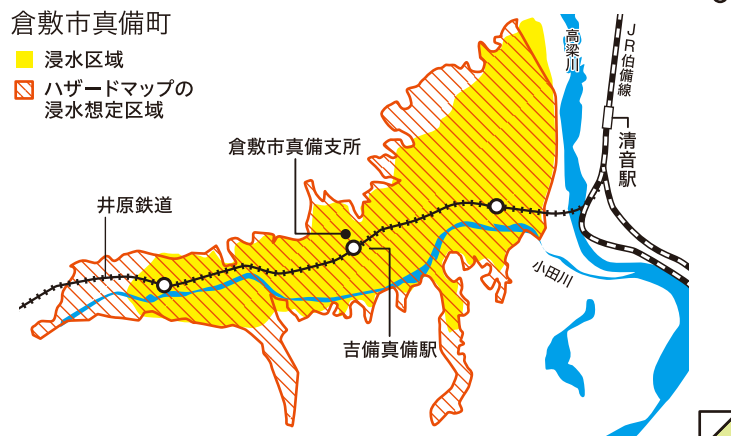
※かがわ防災WEBポータルで表示したハザードマップ画面の一例です。

平成30年7月豪雨とハザードマップ

平成30年7月豪雨では、多くの被害が、災害発生の可能性が高いと公表していた地域で発生しました。

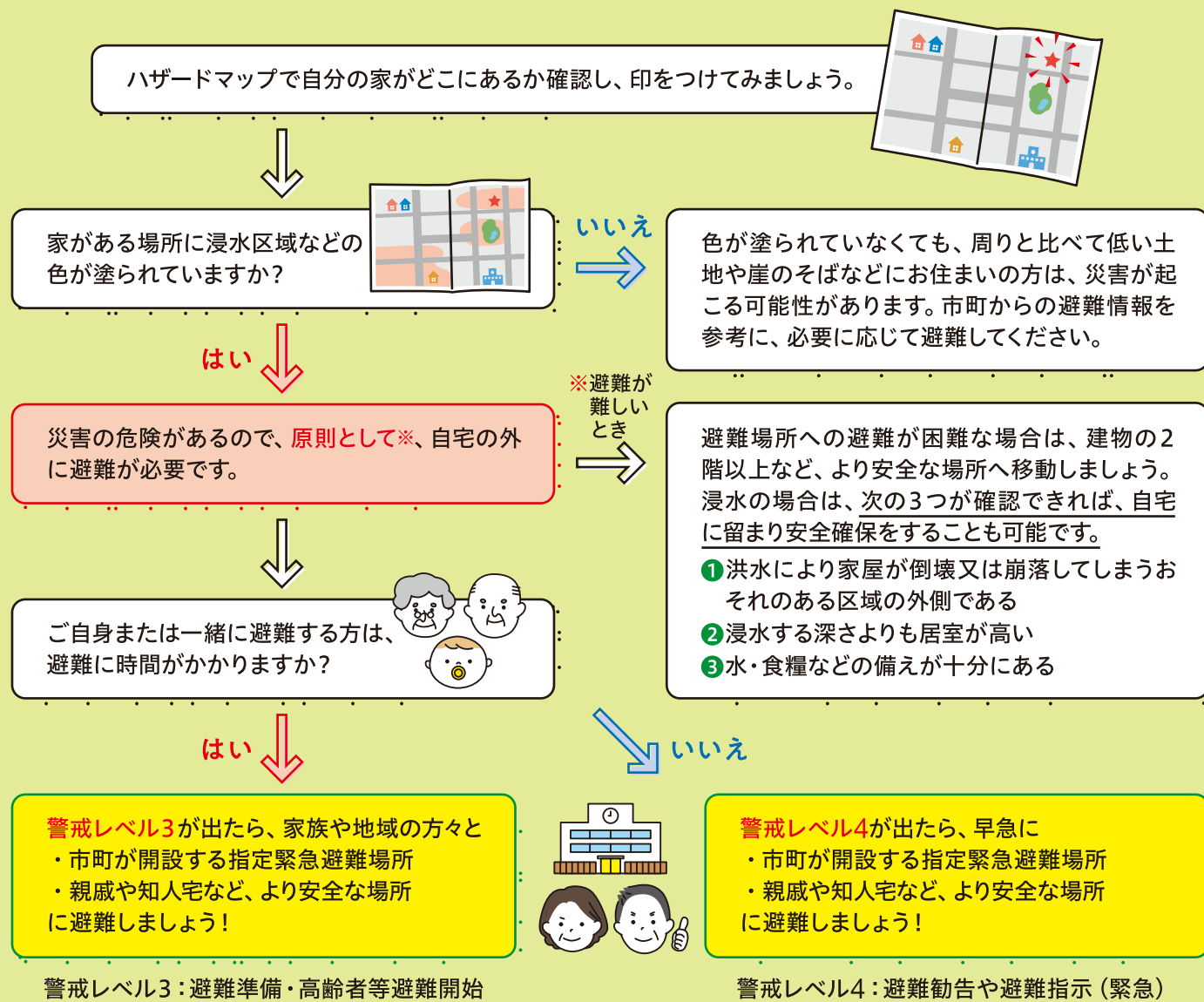
岡山県倉敷市真備地区の実際の浸水区域も、ハザードマップで示されている浸水想定区域とほぼ一致していました。

しかし、ハザードマップの存在は知っているものの、内容まで十分理解している人は少数であったため、避難行動をとっていない可能性があったといわれています。



ハザードマップを使ってみましょう

台風や豪雨を想定して、あなたの避難行動を考えてみましょう。(参考) 内閣府「避難行動判定フロー」



適切な避難行動のポイント

▶「避難」とは「難」を「避」けることです。

自宅の安全が確保できれば、危険をおかしてまで避難場所に行く必要はありません。

▶避難先は小中学校・公民館だけではありません。

安全な親戚・知人宅に避難することも考えてみましょう。

▶避難経路は、必ず歩いて確認しておきましょう。

経路上に危険な場所がないか、ほかに経路がないかなども考えてみましょう。

